

大動脈緊急症とは

資料 5

急性大動脈解離と大動脈瘤破裂のことで、突然の胸の痛みや背中・お腹の痛みで発症します。
すぐに適切な治療が受けられなければ死亡に至る可能性が高い病気です。

大動脈解離による様々な症状

しゃべりにくい
 カが入らない
 意識がなくなる

脳梗塞

胸や背中の痛み

胸腔内出血

心筋梗塞

心タンポナーデ
 (心臓出血)

脊髄虚血による麻痺

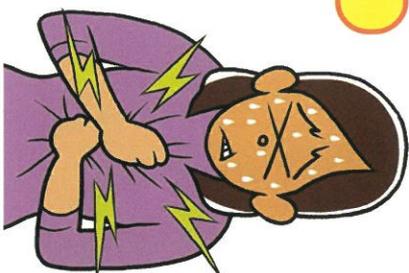
腸管虚血

腎虚血

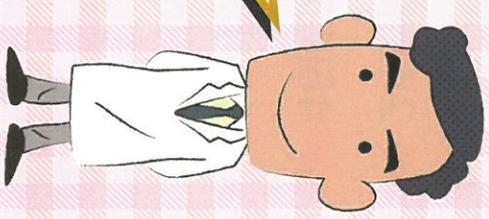
腹腔内出血

お腹や足の痛み

下肢虚血



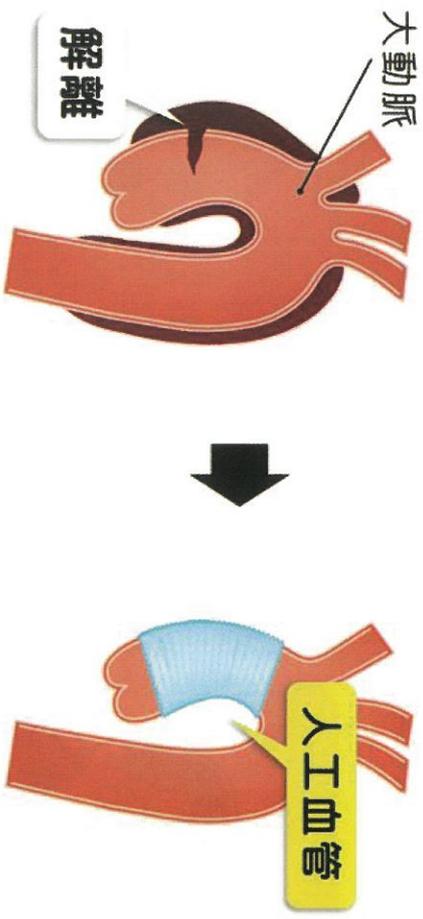
大動脈が裂けることで様々な症状が
 起こります
 突然これらの症状を感じたら、
 ただちに医療機関への受診が必要です



大動脈解離・大動脈瘤の治療

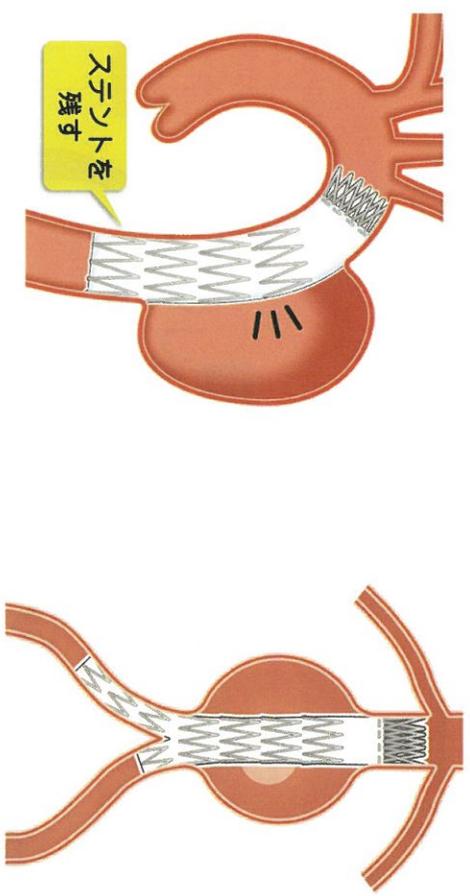
- 血圧を下げる治療（点滴や内服による降圧治療）
- 手術（人工血管置換術やステント治療）

大動脈解離に対する手術



重症例では、人工血管を用いた緊急手術が必要です

大動脈瘤に対する手術



体への負担の小さいステント治療をおこなうことがあります

急性大動脈解離の場合

発症から

- 24時間以内の死亡率：**20%**
- 48時間以内の死亡率：**30%**
- 1か月以内の死亡率：**50%**
(院内死亡率：**35%**)

とても素早い対応が必要です

※岡山県内の緊急対応が可能な病院は以下の7施設に限られています。

岡山市

- ・心臓病センター榊原病院
- ・岡山大学病院

倉敷市

- ・倉敷中央病院
- ・川崎医科大学付属病院

津山市

- ・津山中央病院

準拠点病院

岡山市

- ・川崎医科大学総合医療センター
- ・岡山医療センター

※大動脈緊急症を疑う症例の拠点病院への救急搬送は、県が県内消防本部（局）と連携し、体制を整備しています。